



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社  
コード番号 3431 URL <https://www.miyaji-eng.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青田 重利

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 企画・管理部長 (氏名) 遠藤 彰信

TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,684	26.8	1,230	47.3	1,314	42.9	687	15.8
2023年3月期第1四半期	12,370	2.8	835	37.6	919	34.6	593	12.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,330百万円 (72.2%) 2023年3月期第1四半期 772百万円 (7.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	101.07	
2023年3月期第1四半期	87.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	65,976	42,207	54.7
2023年3月期	63,051	41,568	56.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 36,056百万円 2023年3月期 35,508百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		60.00		80.00	140.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		170.00		75.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 150円00銭 記念配当 20円00銭

当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を予定しております。

2024年3月期(予想)の第2四半期末配当は当該株式分割前の金額を、期末配当は当該株式分割後の金額を、それぞれ記載しております。

また、年間の合計につきましては、株式分割により単純比較ができないため表示しておりません。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当は320円となります。

詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	10.9	2,500	21.5	2,600	21.3	1,200	37.2	176.34
通期	69,000	14.5	6,600	28.7	6,700	24.7	3,500	13.7	257.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の第2四半期(累計)の連結業績予想における1株当たり当期純利益の額は、株式分割前の株式数で算出しております。

また、2024年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益の額は、株式分割が2023年度の期首に行われたと仮定して算出しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	6,919,454 株	2023年3月期	6,919,454 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	114,584 株	2023年3月期	114,381 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,804,938 株	2023年3月期1Q	6,805,415 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を予定しており、2024年3月期の配当予想における期末配当は、当該株式分割後の株式数を基に算出しております。

また、2024年3月期の通期業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割が2023年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の1株当たりの配当予想および通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は以下のとおりです。

(1) 1株当たり配当金 期末 150円00銭 年間 320円00銭

(2) 1株当たり当期純利益 通期 514円34銭

株式分割および配当予想の修正の詳細につきましては、本日開示しております「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更および配当予想の修正(増配)のお知らせ」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況(連結)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されているものの、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

事業環境においては、国内の公共投資は堅調に推移しており、当社グループの主力である橋梁事業につきましても、新設関連で2,800億円、大規模更新・保全関連で3,200億円（いずれも当社推定値）と前年度および前々年度と同規模程度の発注量が見込まれています。ただし、当第1四半期連結累計期間における発注量（金額ベース）につきましては、前々年同期比半減以下、前年同期比でも15%減（いずれも当社集計値）となっており、全体的に発注時期が遅れ、年度後半の発注量が増えていく見込みとなっております。

このような環境下、受注高につきましては、前年同期に大型の新設橋梁、高速道路の拡幅工事などを受注していたことの影響と入札の結果により、前年同期比62.5%減の80億90百万円となりましたが、今年度は当初より年度の後半に大型目標案件の受注を目指していたことから、受注高に関する見通しの変更はありません。

手持ち工事が予定どおり進捗したことにより、売上高は156億84百万円（前年同期比26.8%増）、営業利益は12億30百万円（同47.3%増）、経常利益は13億14百万円（同42.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億87百万円（同15.8%増）とほぼ計画どおりの数値となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (宮地エンジニアリング)

受注高は、67億22百万円（同31.3%減）となりました。

売上高は、手持ち工事が予定どおり進捗したことにより、92億70百万円（同25.0%増）となりました。

営業利益は5億10百万円（同32.8%減）となりました。

#### (エム・エムブリッジ)

受注高は、13億67百万円（同88.4%減）となりました。

売上高は、手持ち工事が予定どおり進捗したことにより、64億36百万円（同33.8%増）となりました。

営業利益は7億20百万円（同1,114.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較して29億24百万円増加し、659億76百万円となりました。主な要因は、現金預金が41億25百万円、流動資産のその他に含まれる未収入金が7億61百万円、投資有価証券が5億71百万円それぞれ増加した一方で、受取手形・完成工事未収入金等が29億93百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して22億85百万円増加し、237億68百万円となりました。主な要因は、未成工事受入金が16億15百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が4億98百万円それぞれ増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して6億39百万円増加し、422億7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1億43百万円、その他有価証券評価差額金が4億6百万円それぞれ増加したためであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の見通しにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

一方、本年度の公共事業関係予算で見ると、前年度と同様に防災・減災、国土強靱化の推進など国民の安全・安心に係る予算措置が講じられており、関連予算の執行により、先行きについても堅調に推移していくことが見込まれています。

当社グループの主力である橋梁事業につきましては、通常の新設橋梁においては厳しい受注競争が続いている一方、質的にも量的にも高い技術力と施工能力が求められている高速道路の大規模更新工事においては事業規模7兆円で今後も順調な発注が見込まれており、更には大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線などの高難度ビッグプロジェクトの推進も見込まれていることから、中期的に当社グループが飛躍する事業環境であると考えます。また、鉄道関連についてもコロナ禍で厳しい事業環境に置かれていたものの、首都圏ではターミナル駅の再開発事業や連続立体交差事業、大型跨線橋やJR・私鉄各社の高架化、改築工事などを中心に数多くの計画が予定されており、高難度工事における当社グループの持つ安全・安心な技術力が強みを発揮できるものと考えております。

このような事業環境の中、グループとしての経営管理体制を一層強化してより強固な収益基盤にするとともに、グループの中核である宮地エンジニアリング株式会社とエム・エムブリッジ株式会社と一体となり、他社よりも一歩先を行く会社としてステークホルダーの皆様と「共に歩み」「共に成長する」企業とするため、当社は2022年度を初年度とする中期経営計画において、今後の事業戦略、資本戦略、数値目標、投資戦略、株主還元拡大に向け

た資本政策、ESG・SDGsへの取組みなどについて策定しております。そして、その初年度となる前年度においては、概ね計画に近い業績を達成することができました。今後も引き続き、国内の鋼橋市場の変化・動向を踏まえ、持てる経営資源を新設関連工事、大規模更新・保全関連工事、民間工事（鉄道関連、大空間・特殊建築物、沿岸構造物の工事を含む）に適切に配分した最適経営を行うとともに、技術開発やDX（デジタルトランスフォーメーション）に基づく生産性向上ならびに人材の確保・育成、女性活躍を推進し、働き方改革を進め、中期経営計画の達成に努めてまいります。また、本日開示しております「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に基づく配当政策の見直しなどの対応により、中長期的な企業価値の向上を図り、PBR 1倍の実現を目指してまいります。

なお、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表数値に変更はありませんが、当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株を2株の割合をもって分割する予定にしております。これに伴う1株当たり配当予想の修正と合わせて、第2四半期末および期末配当予想の修正（増配）を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」および「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更および配当予想の修正（増配）のお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	13,615	17,740
受取手形・完成工事未収入金等	26,520	23,526
未成工事支出金	369	527
その他	2,681	3,562
流動資産合計	43,185	45,357
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,660	7,660
その他(純額)	5,307	5,516
有形固定資産合計	12,968	13,177
無形固定資産	372	398
投資その他の資産		
投資有価証券	5,156	5,727
その他	1,397	1,340
貸倒引当金	△29	△25
投資その他の資産合計	6,524	7,042
固定資産合計	19,866	20,619
資産合計	63,051	65,976
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,508	7,565
未払法人税等	943	481
未成工事受入金	4,225	5,840
完成工事補償引当金	543	559
工事損失引当金	2,528	2,666
賞与引当金	792	410
その他	854	2,066
流動負債合計	17,395	19,592
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,639	1,639
引当金	117	91
退職給付に係る負債	2,247	2,236
その他	82	208
固定負債合計	4,087	4,176
負債合計	21,483	23,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	3,746	3,746
利益剰余金	23,298	23,442
自己株式	△232	△233
株主資本合計	29,812	29,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,404	2,810
土地再評価差額金	3,240	3,240
退職給付に係る調整累計額	51	50
その他の包括利益累計額合計	5,695	6,101
非支配株主持分	6,059	6,150
純資産合計	41,568	42,207
負債純資産合計	63,051	65,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
完成工事高	12,370	15,684
完成工事原価	10,625	13,433
完成工事総利益	1,745	2,251
販売費及び一般管理費	909	1,021
営業利益	835	1,230
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	81	73
スクラップ売却益	1	1
その他	18	23
営業外収益合計	102	98
営業外費用		
支払利息	0	—
前受金保証料	16	12
その他	1	2
営業外費用合計	18	14
経常利益	919	1,314
特別利益		
投資有価証券売却益	—	48
その他	—	4
特別利益合計	—	52
特別損失		
固定資産除却損	0	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	919	1,364
法人税等	327	440
四半期純利益	592	924
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	236
親会社株主に帰属する四半期純利益	593	687



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	592	924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	406
退職給付に係る調整額	7	△0
その他の包括利益合計	179	406
四半期包括利益	772	1,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	770	1,093
非支配株主に係る四半期包括利益	1	237

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	7,419	4,811	1	12,231	138	12,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	496	—	1,076	1,573	△1,573	—
計	7,916	4,811	1,077	13,805	△1,435	12,370
セグメント利益	759	59	1,021	1,841	△1,005	835

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引に係る進捗率調整及びセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る進捗率調整による影響額12百万円、セグメント間取引消去△961百万円及び全社費用△56百万円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	9,270	6,436	1	15,708	△23	15,684
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102	—	1,260	1,363	△1,363	—
計	9,373	6,436	1,261	17,072	△1,387	15,684
セグメント利益	510	720	1,191	2,423	△1,193	1,230

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引に係る進捗率調整及びセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る進捗率調整による影響額0百万円、セグメント間取引消去△1,123百万円及び全社費用△69百万円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年8月9日開催の取締役会において、株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議しました。詳細につきましては、本日開示しております「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更および配当予想の修正（増配）のお知らせ」をご覧ください。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況（連結）

## ① 生産の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	7,441	59.8	9,279	58.6	34,471	57.0
エム・エムブリッジ	4,866	39.1	6,588	41.6	26,146	43.2
その他	1	0.0	1	0.0	3	0.0
調整額	138	1.1	△23	△0.2	△107	△0.2
合計	12,447	100.0	15,845	100.0	60,514	100.0

## ② 受注の状況

(受注高)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	9,787	45.4	6,722	83.1	38,721	58.1
エム・エムブリッジ	11,771	54.6	1,367	16.9	27,925	41.9
その他	1	0.0	1	0.0	3	0.0
合計	21,560	100.0	8,090	100.0	66,650	100.0

(受注残高)

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)		当第1四半期連結会計期間末 (2023年6月30日)		前連結会計年度末 (2023年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	55,365	53.5	54,714	58.8	57,262	56.9
エム・エムブリッジ	48,331	46.7	38,300	41.2	43,369	43.1
その他	—	—	—	—	—	—
調整額	△219	△0.2	49	0.0	25	0.0
合計	103,476	100.0	93,064	100.0	100,658	100.0

## ③ 販売の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	7,419	60.0	9,270	59.1	34,455	57.2
エム・エムブリッジ	4,811	38.9	6,436	41.0	25,927	43.0
その他	1	0.0	1	0.0	3	0.0
調整額	138	1.1	△23	△0.1	△107	△0.2
合計	12,370	100.0	15,684	100.0	60,279	100.0